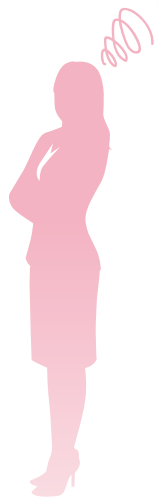


女性が抱える

健康問題とその予防



第13話

性交痛の原因は年齢のせい？

日本家族計画協会が実施した「[ジェクス] ジャパン・セックスサーベイ 2024」によれば、「セックス（性交渉）の時に痛みを感じることがあるか」と聞くと、「いつも痛い」「だいたい痛い」「たまに痛いことがある」を

足し合わせると、6割近くの女性が「痛い」と回答（図）。年代別には40代62・4%、30代62・1%、60代57・7%、50代57・0%の順。性交痛は中高年女性の問題という常識が覆される結果となっています。

一方、10〜20代男性の32・5%が「痛い」と回答し、男性の中で突出していることも気になります。これなど、挿入に際してのペニスへの強い刺激なのか、理由ははっきりしません。

性交痛の原因には、子宮内膜症や子宮筋腫など骨盤内の腫瘍やクラミジア

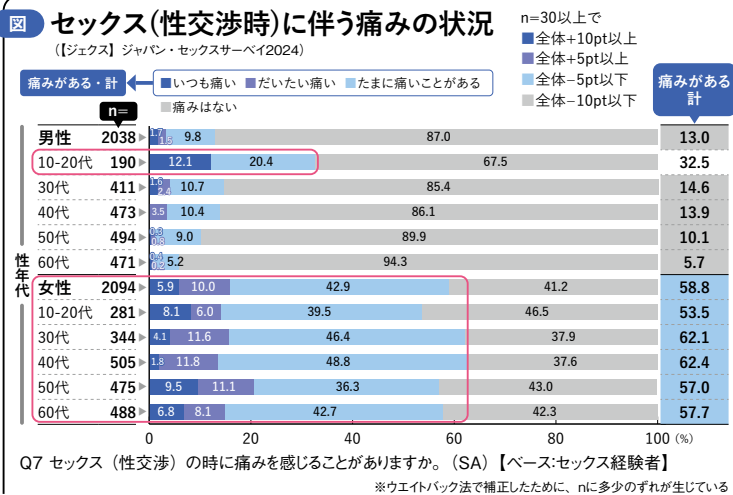
感染症、カンジダ外陰膣炎などの炎症性疾患、高齢女性では膣の萎縮などが考えられます。何らかの病気が疑われるのであれば、婦人科での受診を最優先してください。これらの病気が否定されるのであれば、膣潤滑液の不足、言い換えれば性的興奮に伴って起こる「濡れる」までの時間を待たずに挿入することが原因かもしれません。女性的場合、性的興奮が高まると血液が骨盤腔にドーッと流れ込むも、膣腔全体を取り巻く毛細血管が拡張し充血が起こり、血管壁が離開し、その隙間から潤滑液がポタポタと腔内に垂れることとなります。専門書には、「額にかいた玉のような汗に似た形状をしている」と書かれています。

もちろん、「性は脳なり」なので、もちろん、避妊しない、性感染症予防にも

無頓着では、「この男、信用できないぞ！」との脳からの指令で、若い女性ではセックスを楽しむはずもなく、性交痛に悩まされることになりかねません。

さらに、（性交痛がある女性に）「痛みがある中で性的満足度」を聞くと、女性の44・1%が「満足していない」と回答。50代59・8%、60代55・1%、40代44・7%で、年齢が上がるに伴い「満足している」割合が低くなっています。

それでは、性交痛がある場合にはどう対処したらいいのでしょうか。念入りに時間をかけて性的に興奮させられるか、それでもうまくいかなければ、「濡れる」に近い状態をいかにスピーディーに作れるかです。下手に薬用クリームを使ってしまうと、身近な



【執筆者】
北村 邦夫
 きたむら くにお
 日本家族計画協会 会長
 自治医科大学を1期生として卒業後、群馬県庁に在籍する傍ら、群馬大学医学部産科婦人科学教室で臨床を学ぶ。1988年から日本家族計画協会クリニック所長。東京都予防医学協会理事、日本母性衛生学会名誉会員。2018年より現職。